

講義名称	子どもの保健ⅠA	担当教員名	丸山 憲一
科目群	専門科目 (M)		
科目区分等	保育の対象の理解 (UC) 選択必修	単 位	2
対象学年次	1年・春学期	ナンバリング	CMUC1114

授業のキーワード	子どもの発育・発達、子どもの病気とその予防、子どもの救急処置
授業の概要	子どもの精神的、身体的な健康状態を発育、発達の観点からとらえ、成長の過程でみられる子どものおもな病気の症状、治療、予防ならびに緊急時の対応方法などについて学びます。
期待される学習成果 (目標)	保育者として子どもの成長に応じた健康状態の評価ができるようになること、ならびに子どもがかかりやすい病気について理解し、適切な対処ができるようになることを目指します。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	子どもの健康と保健	子どもの健康の概念と保健統計
2	子どもの感染症1	身体的発育、生理機能、運動機能、精神機能の発達
3	子どもの感染症2	細菌による子どもの感染症
4	感染症の予防	家庭、施設内での感染対策、ワクチンによる感染予防
5	免疫の発達とその異常	気管支喘息、アトピー性皮膚炎など免疫異常、アレルギーによる病気の症状と対処法
6	子どもの発育と発達	身体的発育、生理機能、運動機能、精神機能の発達
7	子どもの神経と心に関する問題	子どもにみられる脳・神経・筋肉の病気、子どもの心の病気と発達障害
8	子どもの食と栄養	母乳栄養、人工栄養、離乳食、幼児期の食事
9	子どもの事故とその予防	子どもにおこりやすい事故と安全対策
10	子どもの救急処置と救急蘇生1	救急処置が必要な状態に関する基礎知識
11	子どもの救急処置と救急蘇生2	救急処置が必要な状態と子どもに対する心肺蘇生法
12	子どもの消化器・循環器の発達とその異常	子どもでみられる代表的な胃や腸の病気と心臓の異常
13	子どもの血液系とホルモンの疾患	子どもの血液系とホルモンの基礎知識とその異常
14	腎・泌尿器疾患	子どもの腎臓の病気
15	先天異常	遺伝的要因、環境要因によっておこる代表的な先天異常

定期試験	筆記試験
授業時間外学習	シラバスを参考に授業前、授業後に学習内容を教科書、参考文献等で確認するとともに関心のある事項に関しては厚生労働省や小児科学会等の関連学会のホームページなどを参考に学習を深めることが望ましい。
評価方法	定期試験100%
使用する教科書 (必ず購入してください)	大澤眞木子監修「子どもの保健Ⅰ・Ⅱ」 (日本小児医事出版社)
参考文献	日本救急医療財団心肺蘇生法委員会監修 改定5版 救急蘇生法の指針2015 (市民用) (へるす出版)